町民体育祭開かる

三千四百名出場

第五回町民体育祭が十月十日、光中学校陸上競技場で盛大裡に挙行された。

午前八時二十分本部役員が着席するとブラスバンドが鳴りひびき、選手団の入場が始まった。先頭は大会役員、続いて制服の消防団が力強く行進、青年クラブも堂々の入場をする。新たに加わった老人クラブのあとは、白のトレーニングパンツに黒の上衣の中学生がきれいな行進をする。最後は九百七十余名の参加をほこる婦人会が、手にした日の丸の小旗を本部前でさっとかかげ入場をする。今年は五回目をむかえ、出場申込者もいままで最高の三千四百余名をかぞえ、広いグランドもうまった。鵜ノ沢大会副会長が開会を宣言、当日朝、篠本一区と関部落からリレーされてきた町旗が、深田和君（青年クラブ）を隊長としたリレー隊に保持されて到着、わきあがる拍手の中にグランドを一周、正面スタンドに掲揚、ポールに国旗と町旗がひるがえった。

種目は出場の各チームより申し込まれたもののうち、特に競技種目の内容のすぐれたものには、アイデア賞をあたえる事としたため、それぞれ趣向をこらした競技が多く、今まで最高の三十八種目の申込があった。

競技は婦人会の五十メートル競走にはじまり、青年クラブのホットジュース、PTAのアベックリレーと楽しいゲームが転開され、地区対抗のメドレーリレーをもって午前の競技は終った。

呼びものの仮装行列は十四チームが出場、グランドいっぱいに仮装と演技を競った。明治百年を表わすもの、テレビの子供人気番組からぬきだしたもの、あるいは最近のニュースを表わすもの等々。会場は笑いのうずと化し、体育祭も今や最高であった。この結果篠本三区、青年クラブ、芝崎東部、役場の各チームが賞をうけた。

午後は消防団員の騎馬戦にはじまった。激しい闘志をむきだしぶつかり合う姿に、見ている者も思わず力が入った。やがて熱の入った野球連盟の千メートルリレー、婦人会の地区対抗リレーをもって競技は終了した。

青年クラブの活躍と中学生の健斗、老人クラブの参加により盛会の競技を終え、大会会長である町長は「今日の大高揚を明日からの生産活動に役立ててくれる事を希望します」と挨拶した。集まった全員はまた来年元気に会場で再会する事を誓いあい解散、いっさいを終了した。

堂々入場する町旗

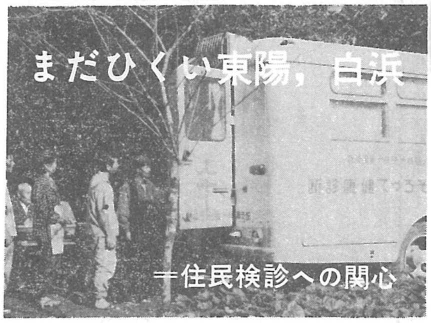
体育祭の呼びもの仮装行列

豚コレラ予防注射は自主的に

この夏は全国的に豚コレラが発生し、当町でも大変な被害を受けました。それが、ようやくおさまりつつありますがまだまだ油断は出来ません。この豚コレラの予防注射代についてはいままで国と県が相当の負担をして養豚家をカバーしてきたのですが最近大蔵省で国の財政的な面と、家畜は飼う人自身で守るべきであるという理由から国の負担をけずる方向で検討していることであり、実施は来年度あたりと言われています。これに対して関係方面から交渉を行なっていますがやはり自分の家畜は自分で守ることが要求されてくると思います。もしこれが実施されると、現在小豚料金七十円が百円位になり中豚大豚料金も当然あがってきます。

ニューカッスル病の流行期をひかえて

昨年全国的に大発生したニューカッスル病が今年もまた流行期となりますが、養鶏家の皆さん、予防注射と消毒は完全に行なってください。自分の家畜は自分で守り他人に迷惑をかけないという心構えをもちましょう。又一般農家及び小中学生の方に御願いしたことは、チャボ、ハトなどを飼う場合、はなし飼いにしないでください。となり近所、飛び廻り病菌をまき散らすおそれがありますのでご協力ください。



まだひくい東陽，白浜

＝住民検診への関心

九月十八日から篠本一区を皮切りに始まった第一次住民検診は、十月六日で一応終わりました。これまでの成績では、受診率が九十パーセントをこえている部落はわずか五つで、町全体では七十五パーセントにしかなっていません。病気は早く発見して、早期治療を受ける以外にまさるものはありません。近く第二次検診が始まりますから、前回受診されなかった方はこの機会をのがさず検診を受けましょう。

第一次検診の成績

部落	パーセント成績	部落	パーセント成績
篠本一	九三	台	九一
篠本二	八七	小川台	七九
篠本三	七八	傍示戸	七五
新井	七九	富下	九六
宝米	八五	虫生	八七
二又	九二	芝崎	八一
市野原	七二	南条計	八九
日吉計	八四	佐間内	七三
母子	七一	宮内	六八
小田部	―	古屋	六五
橋場	六九	高野	四七
桑郷	九七	谷	五四
西高野	八六	山柄	五九
入	七九	関	七〇
篠原	七四	辻	七二
原方	八七	木戸	七一
谷中	六七	長塚	七四
東陽計	七二	五ノ神	八〇
白浜計	六八	尾垂五	七一
町計	七五	尾垂六	六九

（小田部は暴風のため未実施）

損害五千万円

＝火災＝　すでに八件

産業や経済の急速な発展と社会生活の複雑さにともなって、わが国の火災の発生はふえるいっぽうです。

町でも今年すでに八件の火災が発生していますが、十三年間を通じて悲しい最高記録となりました。

月別の件数と損害の見積額は

一月	二件	三十万円
二月	一件	三十万円
三月	一件	八十万円
四月	一件	五十万円
七月	一件	七十万円
九月	二件	四千九百万円
合計	八件	五千百六十万円

となりましたが、もちろん家庭での火の不始末が最大の原因です。

消防団でも宣伝カーをくりだすなど、予防運動につとめていますが、残念ながら今年の効果はありませんでした。

光町で火災〃ゼロ〃の年をむかえるには、ひとりひとりがぜひ次のことを守ることしかありません。

◎たばこの吸いがらはきちんと始末する。

◎煙突などは日をきめて点検、整備する。

◎外出するとき、寝る前には必ず火の元を見まわる。

このほか防火用水や消火器を備えることももちろん大切です。万いち火災がおきたときは、あわてずに近所に知らせ、おちついて火を消すことを心がけましょう。

共同募金運動をおわって

新聞紙上などで相ついで報道された問題にもかかわらず町民のかたがたのあたたかいご援助で、赤い羽根共同募金も目標額に近ずく予定です。

福祉国家は、国や県、市町村だけの努力とともに、民間の自主的な助け合いによる活動があって完成するものです。

そういう意味で赤い羽根共同募金は、おたがいに同じ社会に生きるもの同志としての国民運動といえましょう。

千葉県下の募金は、新聞紙上で報道された他の府県とことなり、募金額の七十パーセントに近い、光町を含む県民のあたたかいこころざしが、恵まれない人々や、施設に使われています。

みなさん方のお子さんやお孫さんが通う三つの保育園にも配布され、今年は二又部落の〃赤い羽根こどものあそび場〃にもこの募金が使われます。また、白浜にできる、めぐまれないお年寄りを収容する老人ホーム「光楽園」にも今後配布される予定です。

年の瀬をむかえると「歳末たすけ合い運動」の季節です。

共同募金で頂いた町民のご理解を「歳末たすけ合い運動」にも活かして、不幸なひとびとを、皆の手で守りましょう。

成果あがる

交通事故をなくそう運動

去る十月二十二日から三十一日までの十日間を秋の交通安全運動旬間として全国的に交通事故防止対策運動が大々的に展開され多彩な行事が繰り拡げられました。今期の趣旨は歩行者の安全と無免許、酒飲み運転の追放を主眼に行なわれたもので、町では町民の皆さんに「交通事故をなくそう」運動に町ぐるみの協力と実践を強く呼びかけ、成果をあげた。

運動の主体性をもつ交通安全協会光支部としては、十月二十二日の八日市場管区の交通安全自動車パレードに参加し、町内を行進し運動の趣旨徹底に努め、翌二十三日に交通安全協会役員に婦人会が参加して、午前七時より出動し一般歩行者、特に園児生徒を対象に歩行安全保護指導と、バス停、標識その他道路交通施設などの点検による歩行安全度の確認を行ない、同二十九日午後二時より光中学校体育館で県警本部より講師を迎え、道路交通法の一部の改正点について、法規講習会が開催され受講者多数出席し、交通安全運動にふさわしい行事であった。

交通安全県民スローガン

◇横断は止まってよく見て手をあげて

◇ハンドルを持つときは酒を飲まない……勇気を

◇酒を飲んだらハンドルを持たない……良識を◇

ハンドルを持つ人には酒をすすめない……親切を

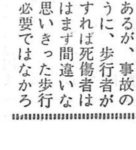
真理ちゃんに町村会長賞

＝県赤ちゃんコンクール＝

十月二十七日に、千葉商工会議所でひらかれた。第五回千葉県赤ちゃんコンクールに出場した志村真理ちゃん（昭和四十一年十二月十三日生、お父さん久さん＝宮川五四四七番地、お母さん恵子さん）はみごと千葉県町村会長賞に入賞いたしました。

真理ちゃんは八日市場保健所での予選を経て出場したもので、光町では、これで三年連続県大に出場したことになります。

これからも、真理ちゃんに続く健康な赤ちゃんが、光町にどしどし育つようになりたいものです。



（写真は真理ちゃんとお母さん）

町獣医の執務場所変わる

従来、町獣医は家畜人工授精所で執務していましたが十月二十日から役場産業課へ変りましたので、獣医への連絡は産業課へ御願いします。

学年制を採用

来春の成人式から

おとなになったことを自覚し、自から生き抜こうとする青年達を祝いはげます成人式は、今までどおりバスを利用した行事を計画しております。

従来は成人の日までに二十才に達した方をお招きし祝福しておりましたが、これによりますと同級生でも翌年に該当する者ができ、成人者の間から不満の声と、学年制希望意見が強くだされていました。そこで来春からさっそくこの意見をとり入れる事にしました。従って今度成人式に該当する方は二十二年一月十五日から二十三年四月一日の間に生まれた男女で、町に住民票のある方と戸籍のある方でしたら町外居住者でも受付けをいたします。追って該当者には案内状を差しあげますが、町外居住者で光町の成人式に出席を希望する方は、早めに教育委員会事務局か、お近かくの社会教育委員までお申し出ください。

編集後記

〃秋深し　隣は何をする人ぞ〃

ひっそりとした秋のたたずまいがあらわれている句だが、一歩外へ出れば、とても秋の風情などとは言っていられないこのごろの交通事情である。

交通安全運動の旬間に、かえって事故が多いとはいかにも皮肉だ。安全設備や車を運転するものの心がまえも、もちろん大切であるが、事故の内容が示すように、歩行者がじゅう分注意すれば死傷者は激減することはまず間違いない。この際、思いきった歩行者への教育が必要ではなかろうか。